

令和6年度 第8回 理事会議事録

日 時：令和6年12月11日（水） 19:00～21:30

場 所：医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院 5階会議室

[出席者]

理 事：末吉恒一郎、立津統、久高将臣、上地誠之、仲宗根美紀、金城良和、 當間智史、宮里由乃、比嘉俊文、高安信吾、安村大拙、玉城すみれ、武富新太郎、平良雄司、下里真司

監 事：千知岩伸匡、南部路治

書 記：馬上恒弥

[審議事項]

- ・第1号議案 入会の承認に関する件…【資料ファイル1、1-1】
- ・第2号議案 第15回全国若年性認知症フォーラム in 沖縄の後援依頼に関する件…【資料ファイル2】
- ・第3号議案 居宅通所支援事業部研修会補正予算の承認に関する件

議決に加わることの出来る理事数 15名

出席者理事数 15名（第1号議案・第2号議案：14名、第3号議案：15名）

上記のとおり、理事及び監事の出席が確認され、代表理事末吉恒一郎が議長となって、本理事会は集合とWeb会議システムを併用して開催する旨宣言した。

議長末吉恒一郎は、参加理事立津統、金城良和、久高将臣、上地誠之、仲宗根美紀、比嘉俊文、當間智史、宮里由乃、玉城すみれ、武富新太郎、下里真司、平良雄司、安村大拙、高安信吾、監事千知岩伸匡、南部路治に対し、本理事会に出席する旨を説明し、Web会議システムにより、出席者の映像と音声は即時に他の出席者に伝わり、出席者が一同に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっている事が確認されて、議案の審議に入った。

[報告事項]

1. 会長

※月次活動報告

2. 副会長

※月次活動報告

3. 事務局

※月次活動報告

4. 地域局

※月次報告書

5. 社会職能局

※月次活動報告

6. 教育学術局

※月次活動報告

7. 各種委員会

第 1 号議案 入会の承認に関する件

提出日：令和 6 年 12 月 10 日		提出者：上地誠之	
担当局：事務局		担当部：総務部	
議案主題	入会の承認に関する件 【資料ファイル 1、資料ファイル 1-1】		
議案内容 及び 提出理由	<p>【入会申請者】計 3 件 承認：3 件、 否認：0 件、保留：0 件 令和 6 年度 4 月 1 日～11 月 12 日：116 名（昨年度同時期 99 名）</p> <p>【会員動向】令和 6 年 11 月 30 日現在 ※連絡不能者含む</p> <p>・在会会員数：1,541 名、施設所属会員数：1,438 名、自宅会員数：103 名、休会：419 名</p> <p>・所属施設数： 345 施設（休会会員施設含む）</p> <p>【期間会員動向】令和 6 年 11 月 1 日～令和 6 年 11 月 30 日</p> <p>※当協会入力状況から検索</p> <p>異動：9 名（県内：7 名 転入：2 名 転出：名）（うち再申請：0 名 否認：0 名）</p> <p>休会：2 名（前月：2 名）</p> <p>退会：3 名（前月：1 名）</p> <p>復会：0 名（前月：1 名）</p>		
審議内容	<p>1 入会の承認について</p> <p>【質疑応答】</p> <p><末吉会長>休会、退会者の前年比はどうだったのか。</p> <p><上地理事>前年度とはあまり変わらない。休会者は毎月いる状況。</p> <p><武富理事>総会員数は前年度と比べてどうか？</p> <p><上地理事>年度末に休会、退会が増えなければ、前年度と比較して若干増えてはいる。</p> <p><千地岩監事>新卒者の入会人数はどれぐらいいるか把握できていますか。</p> <p><上地理事>新卒者のみでの数は把握できていませんでしたので、次回理事会までに数値を出して報告いたします。</p>		
審議結果	全員一致で可決 可：14 名 否： 0 名		
	担当局： 事務局	担当部：総務部	
備 考			

第 2 号議案 第 15 回全国若年性認知症フォーラム in 沖縄の後援依頼に関する件

提出日：令和 6 年 12 月 10 日		提出者：上地誠之	
担当局：事務局		担当部：総務部	
議案主題	第 15 回全国若年性認知症フォーラム in 沖縄の後援依頼に関する件 【資料ファイル 2】		
議案内容及び提出理由	<p>昨今、若年性認知症への関心は高まってきており、全国各地で様々な形の支援が行われてきている。一方、正しい理解や地域で安心して暮らしていく上での課題は山積しており新型コロナウイルス感染症で活動が制約される中、支援ネットワーク作り等を苦慮しつつ取り組んでいるのが現状である。</p> <p>今回は、感染予防と安全面を考慮し、2025 年 1 月 25 日（土曜日）浦添市において「第 15 回全国若年認知症フォーラム in 沖縄」を開催する。</p> <p>会期：令和 7 年 1 月 25 日（土）1 日間</p> <p>名義使用期間：許可日から 令和 7 年 1 月 25 日まで（新聞、ポスター）</p> <p>会場及び所在地：ハイブリッド形式（会場、Zoom）</p> <p>会場：アイムユニバース浦添市てだこホール・市民交流室</p> <p>参加対象：医療福祉関係者、行政関係者、認知症当事者・家族、一般市民</p> <p>参加費：無料</p> <p>展示物：あり</p> <p>対象地域：全国</p> <p>※詳細なプログラムは資料ファイルをご確認ください。</p>		
審議内容	後援依頼についての可否 【質疑応答なし】		
審議結果	全員一致で可決 可：14 名 否： 0 名		
	担当局：事務局	担当部：総務部	
備考			

第 3 号議案 居宅通所支援事業部研修会補正予算の承認に関する件

提出日：令和 6 年 12 月 10 日	提出者：當間智史／下里真司
担当局：社会職能局	担当部：居宅通所支援事業部

議案主題	居宅通所支援事業部研修会補正予算の承認に関する件
議案内容及び提出理由	<p>今回予算超過見込みの研修会『ハラスメント研修会』は、66,500 円となっているが、講師の張本氏の謝金 90,000 円、旅費 60,000 円、運営費 24,000 円で概算 174,000 円となる見込み。</p> <p>講師からの申し立てで研修会で自社商品（『はぐくも』・『リハノメ』）を C M 約 10 分程度させて頂ければ講師謝金・旅費無料の提案あり対応方法検討し、予算超過するため、補正予算での講習会開催承認可否を頂きたい。</p>
審議内容	<p>居宅通所支援事業部研修会補正予算での開催の承認可否について</p> <p>【質疑応答】</p> <p><末吉会長> 県外講師を想定していなかった事が 1 つと、講師が予算編成委員会の時点で決まっていない事も多いので若干の増減はあると思う。その時々宿泊費や渡航費の料金も変わるので仕方ない部分もある。ただ、県外講師を想定していなかった事が気になる所ではある。そこは事業部の話し合いでどういう議論をしていたのか教えてほしい。</p> <p><當間局長> 県外講師を立てる講習会だったのかを把握できてなかった事と、担当理事も変わっていて、県外講師を立てた事に対して誰も違和感を持っていなかったです。</p> <p><金城副会長> 企画の段階で例年通りの予算を組んでいて、そこに、講師区分をきちんと反映しないまま事業計画・予算計画を立ててしまった。そのまま予算編成委員会に提出してしまい、ダブルチェックが出来ていなかったのが影響していると思う。計画の段階ではハラスメント研修は実施しようとなっていたと考えていたが、県外なのか県内なのかを議論出来ないまま計画だけ挙げてしまったというのが現状だと思う。</p> <p><平良局長> この研修会は講師以外、時間も含めて、内容は変更はないでしょうか？ 県外講師を呼ぶ事になったから予算超過してしまったという理解で宜しいでしょうか？</p> <p><當間局長> そうですね。今の所変更の予定はありません。予算超過は県外講師を想定した予算書になっていなかったのが原因です。</p> <p><金城副会長> 研修会の規模や時間は同じで、平日開催か夕方開催ということ。</p> <p><當間局長> 先方からは、「講習会の PR でプロフィール紹介、自社の案内を 3 分ぐらいやってもいいですか？もし OK であれば謝金は無料で構いません。」という提案をいただいている。この場合、90,000 円が無しとなるが、無料はどうかという意見があり、謝金 15,000 円はお支払いし、予算内に収まると考えている。</p> <p><末吉会長> 今後の為の確認として、県内外どちらか不明な場合は県外講師で設定した方がいいと思います。それで県内にする場合は調整しやすい。逆の場合は調整が難しくなると思う。予算編成委員会は協議の場で、そこで決定ではないということをもう一度、頭に入れていただきたい。翌月の理事会にて決定するの</p>

	<p>で、その際に、明確なフィードバックする必要がある。</p> <p><當間局長> 予算計画書を提出したけれど、その予算が通ったかどうかは部長、支部長が把握出来ていなかったかなと感じている。</p> <p><久高事務局長> 今回は出来るだけ皆さんに提出していただいた予算を通して、事務局の予算を削っている。各部局・支部へ予算が通ったことなどを説明できていなかったのは事務局として反省している。今後事務局の課題としたい。</p> <p>昨年度までは、三役に予算をチェックしてもらうの事が出来ていなかったのですが、今年度は三役にチェックしていただいて、会長の方針に沿って強弱も出てくると思うので、それがきちんと説明出来るようにしていきたい。</p> <p><金城副会長> CMの目的と中身が事前に分かっていて、それを踏まえて今回はCMを採用して費用などを抑えるのか、それともCMを認めるかどうかにも必要。講習会に沿ったリハ関係の内容であれば良いのかどうか、CMの中身の確認も必要になってくる。</p> <p><當間局長> 1つはリハノメコンテンツ、もう1つもリハ関係の内容と思われる。講師がこういう仕事をしている事を知るという意味では、講師紹介という意味合いでいいのかなと思う。この講習の翌日にも別研修があり、「CMを流すことが出来なくても半額にします」と提案がある。理事の皆様は動画を確認していただき、承認するか、懸念事項を上げてもらうかという形にしたい。予算を減額するのか、先方の提案通りにして経費を抑えるのか、いずれにしても、研修会開催の可否について、審議頂きたい。また、呼吸リハビリテーションに関する事業は、今年度の執行は難しいが、この分の予算の取り方について確認したい。</p> <p><金城副会長> 定時総会の中で事業計画を説明して承認をもらっている。こちらの手違い、都合で事業が出来なくなった場合は会員に対して説明が必要。そこも含めて事業取消しは考えないといけないかと思う。取消した理由や経緯など説明出来た方がいい。</p> <p><末吉会長> 1つの提案としては、張本先生個人に対してハラスメント研修を依頼しているので、講師謝金と渡航費はお支払いする。先生の講師プロフィールの中で会社の紹介を行うのは、問題ないと思われる。</p> <p><當間局長> 方向性としては、研修会開催の可否に関しての承認と、予算は超過するが、そのまま減額ではない形で講師には提案させていただく。講師から提案があった際は事務局へ繋いでいく。先方にはCMではなく講師紹介、企業紹介と念を押して進めていきたい。</p> <p><久高事務局長> 講師とのメールに事務局をccで加えていただきたい。流れが分かると対応もしやすいのでお願いします。</p>	
審議結果	<p>全員一致で可決</p> <p>可：15名</p> <p>否：0名</p>	
	担当局：社会職能局	担当部：居宅通所支援事業部

備 考	
-----	--

公益社団法人 沖縄県理学療法士協会
会長 末吉 恒一郎
監事 千知岩 伸匡
監事 南部 路治